

※営農技術情報

☆☆除草剤2回散布処理による草地更新方法☆☆

(H26.6.6草地雑草現地研修会資料より抜粋)

メドウフォックステイル(黒穂・MFT)の対策として、草地更新作業における現地研修会が開催されました。特に、効果が確認された事例(2パターン)を紹介いたします。

<実証圃の経過>

No.1 更新作業内容「1番草収穫→プラウ・ディスクハロー耕起・整地・雑草発芽→は種」

- ① 1番草収穫後、除草剤散布(1回目)。※草丈は30~40cmあると効果的です。
※ラウンドアップマックスロード(リード→1000ml/10a、ギンギン・MFT→500ml/10a)
- ② 10~14日後、耕起(プラウ)・砕土(ディスクハロー)整地・鎮圧(ローラ)を行う。
※土壌改良材を投入。
- ③ 整地から1ヵ月後位に雑草が発芽し出揃ったところで、除草剤散布(2回目)。
※ラウンドアップマックスロード300ml/10a
- ④ は種・施肥・鎮圧。(注:土が動き過ぎないように丁寧に作業を行う。)

時 期	6月		7月		8月			9月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
作 業 内 容	●牧草収穫→		●除草剤散布→		●耕起、整地→ ●鎮圧			●除草剤 ●施肥、播種、鎮圧		

No.2 更新作業内容「プラウ秋耕起→翌年整地・雑草発芽→は種」

時 期	9月			10月	越冬	4月		5月		6月
	上旬	中旬	下旬	上旬		中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
作 業 内 容	●除草剤散布→			●耕起→		●整地→ ●鎮圧		●除草剤、播種 ●施肥、鎮圧		



お二人の共通した目標は
「家族を大切にした、
地域に根ざした経営」
是非、2年後には、地域を担う農業者
になることを期待しております。



現在、田原地区の「田中農園」で新規就農を目指している農業研修3期生の「林裕之」さんを紹介いたします。
林さんは青森県出身で、親族が営む会社で、循環型農業などを実践し、「農業人フェア」を通して昨年12月に来町。一番の驚きは、雪が少なく冬期間に道路のアスファルトが出てくる状況だったと言っています。
目標は家族がふれあえる経営で、地域に根ざした施設野菜を展開することで、又、次期研修生を受け入れる事が出来る経営を目指していると話しておりました。

次に、「中道農園」で農業研修中の「岡田幸憲」さんを紹介いたします。
岡田さんは広島県出身、沖縄県で10年以上、サトウキビ・パイナップル栽培、更にはツアーを受入れる観光農園などの業務に携わるなど経験豊富な方で、「町ホームページ」を通して本年5月に来町。
まだ知らない事はかりで、戸惑うことも有ると言っています。
目標は？との質問には、言葉での表現が難しいが「家族の絆を大切にしたい経営」と話しておりました。

農業研修生の紹介

新ひだか町で新規就農を目指します。

農業担い手育成支援協議会